令和5年度

COMPASS. 香美

討議日：令和5年10月13日
公表日：令和6年 3月 7日

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	職員の配置数は適切である	6		国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		生活空間は、児童にわかりやすく構造化され、児童の動線を妨げないよう適切な配慮がなされています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		定期的にリフレクション会議やミーティングを行い、日々の業務改善や療育内容の見直しをしています。	
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		年に一度は保護者様にアンケートを依頼し、ご意見を職員間で検討し、リフレクション会議などで課題や改善策を話し合っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	6		COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		年に一度は保護者様にアンケートを依頼し、ご意見を職員間で検討し、リフレクション会議などで課題や改善策を話し合っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		保護者様との面談を通してニーズなどをお聞きすることで、児童の状態をアセスメントし、成長と発達に応じた計画を作成しております。	
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		統一化されたアセスメントシートを使用し、内容を元に支援計画の作成へと繋げております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		活動プログラムの立案は職員全員で意見を出し合うことで課題に沿った活動を勘案しています。 利用児童の特性・現状と記録を参考に、その都度組み立て、共有しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			療育内容の見直しや話し合いを随時行い、固定化しないようプログラムの工夫に努めております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		平日は、放課後の限られた時間内での利用なので、課題に取り組むことに重きをおいた支援を行い、週末や長期休暇時には、児童の課題に沿った支援だけではなく、集団での関わりを増やす等、児童の状況に合わせ、それぞれの課題を設定して支援を行ってまいります。	
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6		児童の発達に合わせて個別活動、集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		業務内容についての共有および、児童の支援内容について打ち合わせを行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		業務内容についての共有および、児童の支援内容について打ち合わせを行っております。	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		支援を行った職員が必ず経過記録を取り、できている所やできていない所などを見直し、支援の検証・改善に繋げています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的に必ずモニタリングを行い、面談にて保護者様のご意向を踏まえ、児童の状況や課題などを話し合い、計画の見直しを判断しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6		児童一人ひとりの課題に合わせ、ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせた支援を行っています。	
関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者や対象となる児童の状況を把握している職員が参画しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		保護者様から学校行事や時間変更を教えていただいています。 学校とは主に送迎時に情報共有し、連携を図って、下校時間の確認など連絡調整を実施しています。	
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている		6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		担当者会議にて関係機関との情報共有に努め、相互理解を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		6	現在、該当する児童はおりません。	今後該当する児童が卒業する場合、移行した事業所などに情報を提供してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		各専門機関と連携し、担当者会議などに参加して情報共有を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある		6	今年度は外部交流の機会がありませんでした。	保護者様のご意向をいただいたうえで、交流機会を探ってまいります。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		自立支援協議会へ積極的に参加しております。	
	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時などに保護者様にその日の様子を必ず伝え、共通理解を持てるようにしています。 また保護者様と積極的な意見交換を行い、より良い支援へ繋げております。	
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6		できる範囲の支援に努め送迎時や連絡帳のやりとりを通して、ご質問などへの助言を行っております。 保護者様からお悩みやご相談などがあった場合には、丁寧なアドバイスに努めております。	
保護者様への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時には丁寧な説明をするように努めております。	
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		送迎時や連絡帳のやりとり、家庭連携を通して保護者様からのお悩みや心配ごとについて伺い、気持ちに寄り添った助言やアドバイスができるように心掛けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している		6	今年度は保護者会の機会はありませんでした。	保護者様のご意見を伺いながら保護者様の交流の機会を検討してまいります。
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		現時点までに重大な苦情をいただいたことはありませんでしたが、苦情窓口と責任者を配置し、玄関には、ご意見箱を設置しています。 ご意見をいただいた場合は速やかに対応させていただくよう努めてまいります。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7		季節ごとにお便りを発行し、行事予定や制作活動の様子、お知らせなどを発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報の取り扱いは慎重に行い、書類は施錠できる場所に保管をしております。 また、利用児童の写真掲載は書面にて保護者様の同意を得たうえで、掲載しております。	
	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		児童には特性に合わせた伝達方法、保護者様には専門用語は避け、分かりやすい言葉で伝えるよう心掛けています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	今年度は地域住民をご招待するような企画はできませんでした。	個人情報保護の観点や、保護者様のご意向を踏まえ、事業所主催の行事にお招きするなどの機会を企画・検討し、地域との交流も検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		保護者様に確認していただけるよう各種マニュアルを策定し、事業所の見やすい場所に掲示しています。 年間計画を立て各種マニュアルを元に訓練を計画、実施しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に地震、火災、風水害を想定した避難訓練を実施しています。 避難訓練の様子は、送迎時や連絡帳、お便りにて保護者様にご紹介しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		事業所内で職員研修を行い、虐待防止についての周知に努めています。 毎年、虐待や身体拘束などの研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		原則として契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、やむを得ず必要となった場合には、児童や保護者様に十分なご説明を行い、承諾を得て、計画書にも記載しています。 事業所では職員に対して身体拘束に関する事業所内研修と知識の更新を行っております。	
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーについては面談時に保護者様より詳細な情報をいただいています。 いただいた情報は全職員で情報共有と共通理解を行っております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、職員で話し合う場を設け再発防止に努めています。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。